

2020年3月期 連結決算ハイライト

阪和興業株式会社  
(単位: 億円 億円未満切捨て)

2020年3月期 決算の概要

・本年度決算は、鋼材需要が減少傾向の中で取扱数量が減少したほか、非鉄金属・合金鉄及び石油製品などの商品価格が前期に比べて低い水準にあったことなどから、売上高は前期比8%減の1兆9,074億円となりました。また利益面では、営業利益はプライマリ原料事業や鉄鋼事業、食品事業の減益などにより前期比5%減の273億円に、経常利益は持分法適用関連会社であるSAMANCOR社に関する減損処理による損失を持分法投資損失に計上したため125億円の損失となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券評価損なども加わり136億円の損失となりました。  
・中間配当75円、期末配当25円(年間配当は100円)を予定しております。

経営成績	当期	前期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	19,074	20,746	△1,671	△8%	<p>(売上高) 鋼材需要が減少傾向の中で取扱数量が減少したほか、非鉄金属・合金鉄及び石油製品などの商品価格が前年同期に比べて低い水準にあったことなどから、前年同期比8%の減少となりました。</p> <p>(販管費) 前期比で21億円の増加となり、その内、新規連結した子会社の影響は15億円でした。また、人件費は10億円(新規連結子会社分は5億円)の増加でした。</p> <p>(営業外損益) 営業外収益は16億円減少し、営業外費用は327億円増加しました。経常利益に対する主な影響は以下のとおりです。 受取配当金: 前期比で4億円の増加 受取利息: 前期比で20億円の減少 持分法投資損失: 前期比で353億円の増加内、SAMANCORの損失は349億円(同社減損処理による損失は273億円)</p> <p>(特別損益) 投資有価証券売却益9億円: 上場有価証券の売却益 投資有価証券評価損65億円: 主として上場有価証券に対する評価損の計上 減損損失 10億円: 主として連結子会社における土地・建物などに対する減損損失の計上</p>
売上総利益	798	792	6	1%	
販管費	524	503	21	4%	
営業利益	273	289	△15	△5%	
営業外収益	53	69	△16	△24%	
営業外費用	452	124	327	263%	
経常利益	△125	233	△359	—	
特別利益	12	4	7	189%	
特別損失	86	28	57	201%	
税引前当期純利益	△199	209	△409	—	
法人税等	55	71	△15	△22%	
当期純利益	△255	138	△393	—	
親会社株主帰属分	△136	139	△275	—	
非支配株主帰属分	△118	△0	△117	—	
E P S	△336.51円	342.41円	△678.92円	—	
当期包括利益	△299	34	△334	—	

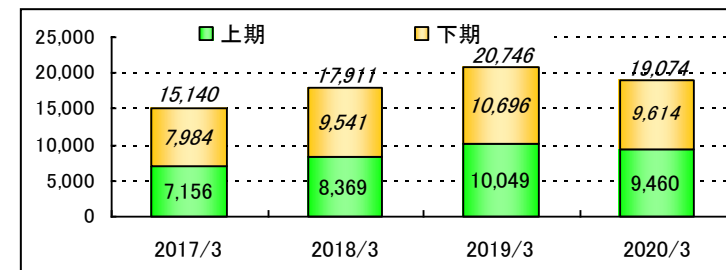
セグメントの状況	売上高			セグメント損益(経常損益)			主な要因
	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率	
鉄鋼	10,054	10,479	△4%	146	173	△16%	<p>(鉄鋼) 国内外で需要低迷から、当社の取扱数量も減少し、減収となったほか、鋼材価格がじり安傾向となり、子会社を中心に利幅を確保しにくい状況が続きました。(プライマリ) SAMANCOR社に関する減損処理により持分法投資損失が拡大し、セグメント損益は損失となりました。(リサイクル) 銅スクラップ価格の下降局面で安値調達したことによる採算の改善や新規連結したPT. HANWA ROYAL METALSからの利益の上乗せなどから増益となりました。(食品) 主にサケ類の市況が下落し、たな卸資産評価損が増加したことや替差益が減少したことにより、セグメント損益は損失となりました。(石油・化成品) 原油・石油製品価格が低い水準で推移したほか、取扱数量も減少したものの、PKS(パーム椰子殻)などのバイオマス燃料や船用石油の利幅増により増益となりました。(海外販売子会社) 主に米国やアセアンで取扱数量が減少、またインドネシアでは地場取引比率の増加を背景に現地通貨の調達コストが増えたことにより減益となりました。</p>
プライマリ	2,598	3,038	△14%	△305	58	—	
原料	788	799	△1%	23	15	51%	
リサイクル	1,017	1,013	0%	△1	15	—	
食品	2,104	2,442	△14%	41	21	93%	
石油・化成品	2,410	3,147	△23%	4	10	△54%	
海外販売子会社	18,973	20,921	△9%	△90	294	—	
報告セグメント計	850	825	3%	14	9	45%	
その他	19,823	21,746	△9%	△76	304	—	
合計	△748	△1,000	△25%	△49	△70	△30%	
調整額	19,074	20,746	△8%	△125	233	—	
PL計上額							

トピックス  
8月・SMC HA NOI ONE MEMBER社の株式65%を取得(HANWA SMC STEEL SERVICE HA NOI CO., LTD.へ社名変更)  
・当社初の統合報告書を発行  
3月・インドネシアに設立された高炉一貫普通鋼メーカー徳信鋼鉄有限公司に出資参画

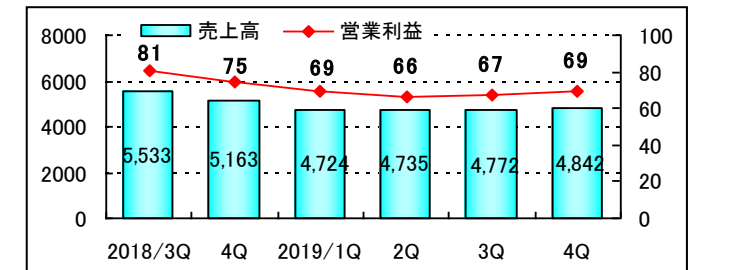
財政状態	当期末	前期末	前期比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	7,984	9,333	△1,348	△14%	<p>(総資産) 売上債権の減少や投資有価証券の減少などにより、前期末比14%減となりました。 受取手形及び売掛金3,415億円(前期末比△18%) 投資有価証券 568億円(前期末比△44%)</p> <p>(負債) 仕入債務や短期借入金の減少などにより、前期比13%減となりました。有利子負債は9%減少し、ネットDERは1.6倍(1.3倍)となりました。</p> <p>(純資産) 親会社株主に帰属する当期純損失の計上による利益剰余金の減少やその他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末比18%減の1,660億円となりました。 自己資本比率は、前期比0.3ポイント上昇の20.5%(23.6%)となりました。 ハイブリッドローン考慮後のネットDER及び自己資本比率)</p>
(流動資産)	6,276	7,249	△973	△13%	
(固定資産)	1,708	2,083	△375	△18%	
負債	6,323	7,308	△985	△13%	
(グロス有利子負債)	3,311	3,632	△321	△9%	
(ネット有利子負債)	2,638	3,039	△400	△13%	
Net DER	1.6/1.3*倍	1.6/1.3*倍	△0.0倍	△0%	
純資産	1,660	2,024	△363	△18%	
(株主資本)	1,613	1,809	△195	△11%	
(その他の包括利益累計額)	22	72	△50	△69%	
(非支配株主持分)	24	142	△117	△83%	
B P S	4,027.01円	4,632.55円	△605.55円	△13%	
自己資本	1,636	1,882	△245	△13%	
自己資本比率	20.5/23.6*%	20.2/22.8*%	0.3pt	2%	

キャッシュ・フロー	当期	前期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
営業活動によるCF	742	154	588	382%	<p>(営業CF) 売上債権やたな卸資産が減少したことによるものです。</p> <p>(投資CF) 投資有価証券や有形固定資産の取得によるものです。</p> <p>(財務CF) 短期借入金の返済や社債の償還によるものです。</p>
投資活動によるCF	△241	△206	△35	17%	
財務活動によるCF	△423	281	△704	—	
現金及び現金同等物	672	583	88	15%	

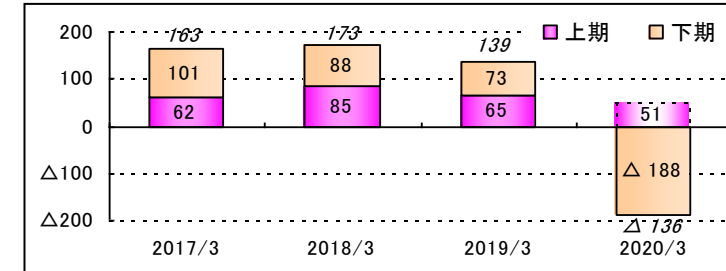
【売上高推移】



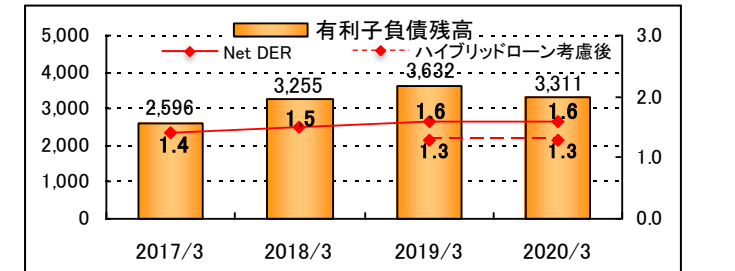
【四半期業績推移】



【親会社株主に帰属する当期純利益推移】



【有利子負債推移】



来期の見通し	来期業績* 予想	当期実績	対前期増減率	配当の状況	前期実績	当期実績	来期予想*
					75.00円	75.00円	—
売上高	—	19,074	—	中間期	75.00円	75.00円	—
営業利益	—	273	—	期末	75.00円	25.00円	—
経常利益	—	△125	—	年間配当	150.00円	100.00円	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	△136	—	配当性向	44%	—	—

\*新型コロナウイルスの影響を現時点で合理的に見積もることが困難なため、未定としております。今後、公表が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。